

# 今後の検討課題等について

## 「番号制度に係る地方税務システム検討会」における検討事項

番号制度の導入により、地方税務分野においては、各所得情報や扶養情報について、番号を用いて効率的に名寄せ・突合することが可能となり、より正確な所得把握が行えるようになることが期待されている一方、事務・手続きの簡素化、負担の軽減の観点から、情報連携基盤を通じて社会保障分野へ所得情報との提供を行うことが想定される。

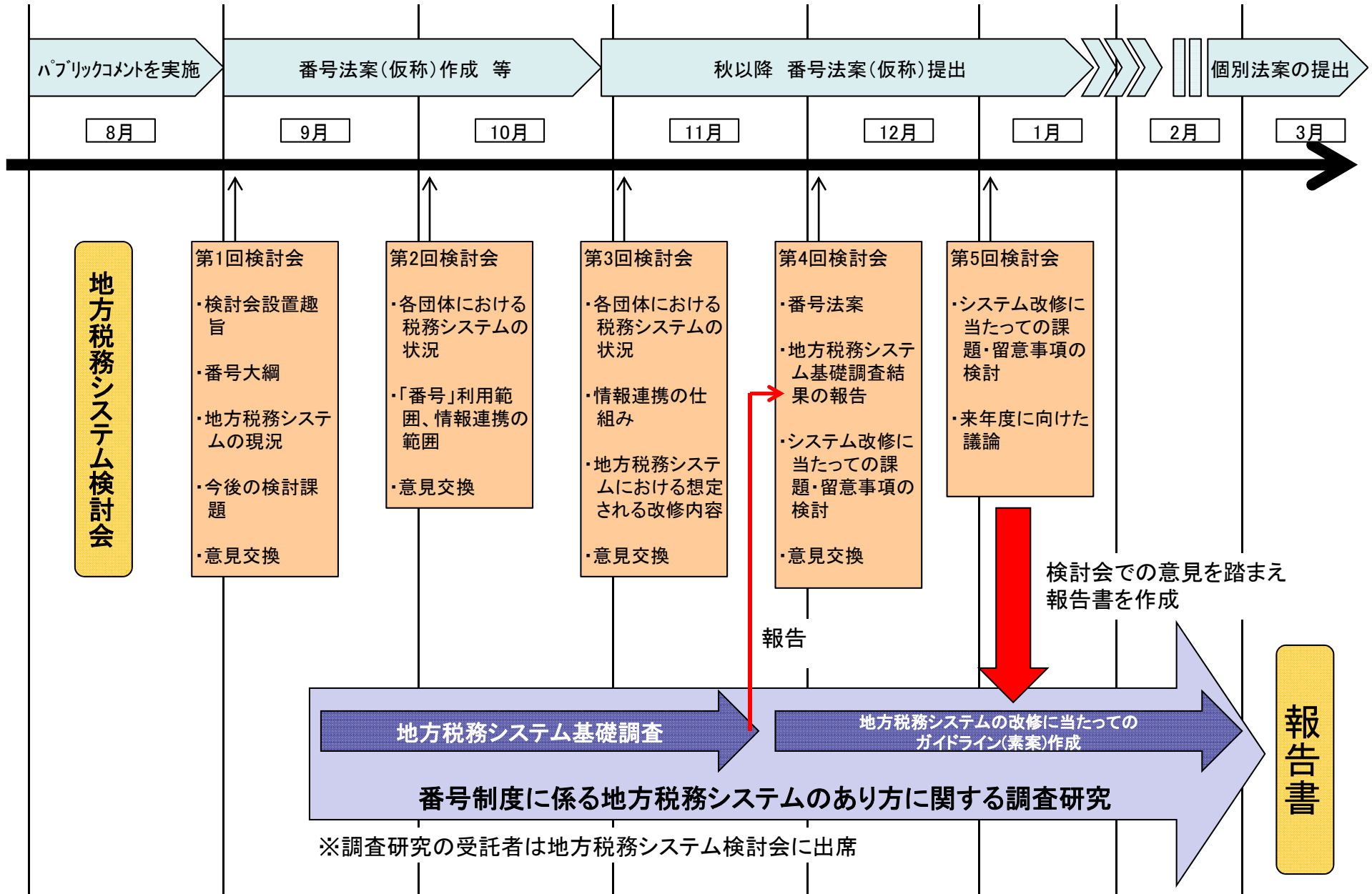
このため、番号制度の導入にあたっては、約1800の地方団体の税務システムの改修が必要となると考えられ、各地方団体の実態を踏まえつつ、導入に必要な要件等を検討し、番号制度の円滑な導入の前提条件を整えることが必要。

### <主な検討内容>

番号制度の導入に伴い必要となる地方団体の税務システムの改修に係る課題を整理し、その解決のための方策及び効率的な改修方法を検討する。

- ・ 地方税の賦課徴収に「番号」を利用する場合に必要な地方税務システムの改修内容
- ・ 情報連携基盤を通じて、他の情報保有機関と情報をやり取りする場合に必要な地方税務システムの改修内容
- ・ 地方団体内部において「番号」を利用する他分野(福祉等)と情報をやりとりする場合に必要な地方税務システムの改修内容

# 地方税務システムに係る検討スケジュール（平成23年度）（案）



## 番号制度に係る地方税務システムのあり方に関する調査研究について

地方団体における番号制度の円滑な導入のため、地方団体の税務システムの現況調査及び地方税務システムの改修に当たってのガイドライン(案)の作成等を実施する。

### <調査・検討事項>

#### ① 地方公共団体の税務システムの現況調査

地方団体等に対するアンケート調査や実態調査を実施し、番号制度の導入に当たって、地方公共団体が実情に応じて最適な税務システムの改修方法を選択できるよう類型化を行う。

#### <調査項目例>

- ・独自構築、パッケージ(カスタマイズの有無)利用の別
- ・更新方針・スケジュール
- ・地方税に係るシステム全体の構成
- ・団体内の他の社会保障関係等のシステムとの連携状況・連携情報のアクセスログ記録
- ・団体外の他のシステムとの連携状況
- ・セキュリティ対策
- ・運用コスト
- ・現行コードの付番方法

#### ② 改修内容の整理、効率的な改修方法の検討

#### ③ 改修に当たってのガイドライン案の作成

#### ④ 地方税分野における番号制度の導入に伴う費用と便益の試算

#### 「番号制度に係る地方税務システム検討会」との連携

検討に当たっては、「番号制度に係る地方税務システム検討会」に出席し、その検討会での意見を踏まえて報告書を作成することとする。